

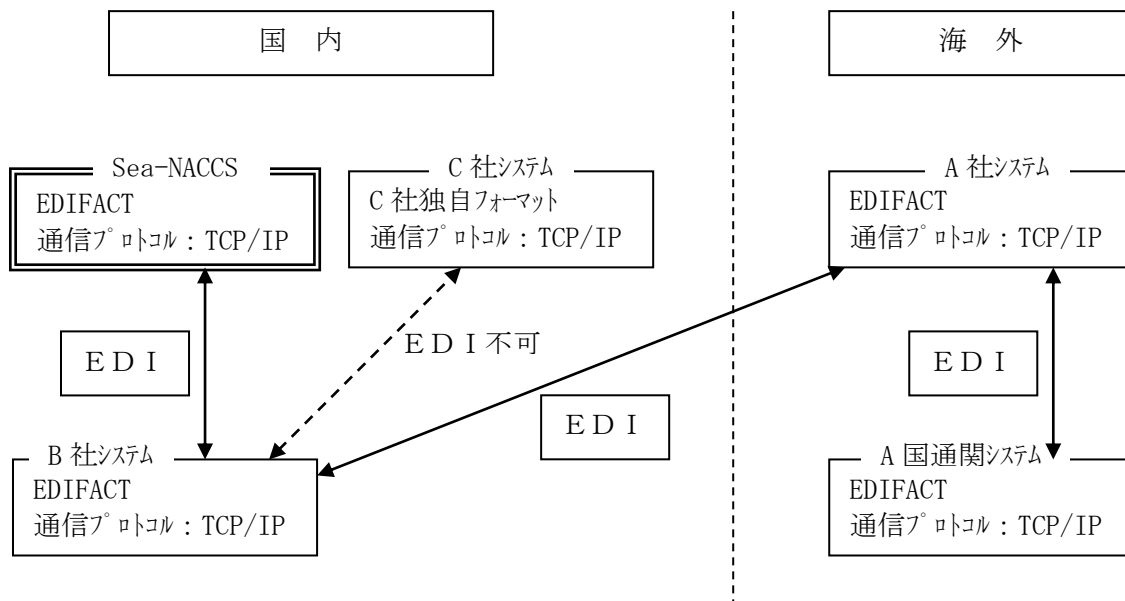
付録 1 4. EDIFACT 電文関連

1 EDIFACT の概要について

EDIFACT (Electronic Data Interchange for Administration, Commerce and Transport : 行政、商業及び運輸のための電子データ交換) は、行政、商業及び輸送分野の関係者間における商取引に伴う情報 (積荷目録情報、インボイス情報、輸出入申告情報等) の交換のために、米国及び欧州で別々に開発されてきた EDI 標準を統合したものであり、国際標準化機構 (ISO) の承認を得て、国際間で EDI を行う際の標準規約として、国連欧州経済委員会 (UN/ECE) により勧告されたものである。

EDIFACT では、積荷目録、インボイス、輸出入申告等の具体的な書式を「標準メッセージ」と呼んでおり、税関に関連するメッセージの作成、開発については、UN/ECE の委託を受け、専門知識を有する WCO (関税協力理事会) において進められている。

(参考 1) EDIFACT による EDI イメージ



(参考 2) EDIFACT の基本的構成要素

規約	説明	内容
標準メッセージ	書類の標準電文書式	・文書フォーマット
シンタックスルール	書類を電文化するための文法	・データの並べ方 ・使用できる文字の種類
データエレメントディレクトリー	データ項目の用語やコードの定義 (辞書)	・データ項目の意味 ・データ項目の用語、コード

(参考 3) EDIFACT の主な税関関連メッセージ

メッセージ名	内容
CUSDEC	輸出入申告として使用
CUSRES	申告等に対する税関の許可・承認の通知として使用
CUSREP	入出港届として使用
CUSCAR	積荷目録として使用
PAXLST	乗客・乗組員名簿として使用
SANCRT	関連法令許可・証明内容として使用
PNRGOV	旅客予約記録

入港届等に対応した EDIFACT 標準メッセージ (CUSREP) の一例

入港届等 (抜粋)

項目名	記載内容
船舶コード	NACCS
本報寄港地コード	東京港
出港予定年月日	2017年10月31日



CUSREP

UNH + 00000000000001 + VIX110 : D : 98B : UN : NAC10' (メッセージ参照番号) (サブセット名) (バージョン) (マニュアル管理機関)
BGM + 185 : : : VIX + 1234567890 + 9' (トキメント名) (業務コード) (入力情報特定番号) (オリジナル)
TDT + 20 + + + + + NACCS' (輸送行程) (船舶コード)
LOC + 60 + JPTYO' (到着) (本邦寄港地コード)
DTM + 189 : 20171031 : 102' (出港予定年月日) (出港予定年月日) (日時フォーマット識別コード)
UNT + 6 + 00000000000001' (セグメント数) (メッセージ参照番号)

(注) 設定値は例である。詳細は「業務仕様書」を参照のこと。